

埼玉県バスケットボール戦評記入用紙

大会 関東大会県予選
 試合 決勝
 日時 5月17日 土曜日 第3試合 時刻 13:00
 記入者名 井上裕史

A チーム	得点		得点	B チーム
山村学園 高校	72	(94	埼玉栄 高校

戦評

第1シード山村と第2シード埼玉栄の対戦となった女子決勝、山村はスタメン2人を故障で欠き苦戦もありながら勝ち上がり、一方栄は新戦力も加わり安定した力を見せてきた。注目の一戦である。

第1P、ともにマンツーマンディフェンス。

オープニングゴールは山村#10のハイポストシュート、高い位置からプレッシャーをかける栄は#14・#4の1対1#5のリバウンドシュートなどで6-12とリードする。山村は長身の#13を投入し栄の高さに対抗、さらに#7の外角シュートなどで残り3分で1ゴール差まで詰め寄る。しかし栄も#14がインサイドで連続ゴール、栄4点リードで終了。

第2P 山村は#10のゴール下・#7の3Pシュート・ターンノーバーから速攻でオフェンスの足が止まり単調な攻撃になった栄を24-21と逆転する。さらに勢いづく山村はパスが回り始め良いリズムで#7の3Pシュートや#5のゴール下が決まる。栄は#4・#14のミドルシュートで食い下がり残り3分34-29。

しかし栄はここからディフェンスを頑張り速攻で残り1分に逆転。#14がランニングプレイを要所で決め、栄が4点差をつけて前半を折り返す。

第3P 立ち上がり山村は#10のドライブイン・#14のミドルシュートで同点とするが、その後外角シュートが決まらず得点が伸びない。逆に栄は#12の3Pシュート・#4の1対1さらに速攻も決まり残り2分には45-55とこの試合初めて2桁得点差とする。そしてスターティングメンバーをベンチへ下げるが、2桁点差を維持して最終Pへ。

第4P スターティングメンバーに戻した栄、ディフェンスを2-3ゾーンに変えて追い上げを図る山村に対して#14のリバウンドシュート、#5・#4の3Pシュート等で51-71と20点の点差をつける。山村は#5のゴール下・#10のミドルシュートで粘るが、栄は#16の3Pシュートを含め安定して外角シュートを決め山村の反撃を許さずに優勝を決める。この試合で栄は長身のオールラウンダー#14をはじめ1年生の質の高さを見せたが、スタメンの復帰する山村との対戦は今後も注目される。